

『学校図書館へ行こう』

応募〆切
2026年
11月30日

プレゼントキャンペーン!

「NCL図書目録」掲載商品3万円以上のご注文で
複製サイン色紙&図書館オリジナルグッズをセットでプレゼント!

先着
1,000校
限定



複製サイン色紙

ジュニア 空想科学読本

柳田理科雄先生&きっか先生

※デザインは変更になる可能性があります。

柳田理科雄先生ときっか先生に色紙を描いていただきました。
「ジュニア空想科学読本シリーズ」と一緒に展示していただけると嬉しいです。



卓上POP
(組み立て式三角柱)



図書委員
連絡ノート

卓上POP& 図書委員連絡ノート

イラスト

ヨシタケ シンスケ先生

※デザインは変更になる可能性があります。

ヨシタケ先生のイラストをあしらった図書室お役立ちグッズ(非売品)です。「図書委員連絡ノート」で、次の図書当番に伝言を残したりすると楽しいかも…。

応募要項

専用申込書は、下のQRコードからダウンロードしていただくか、出入りの書店様へお問い合わせください。



◆応募条件…2026NCL図書目録に掲載されたセット商品または単品商品を合計3万円以上(税別)ご購入いただいた学校様が対象です。

専用の申込書に、ご注文先の書店名、注文日、注文金額をご記入(ご申告)のうえ、FAXにてご応募ください。(複数回に分けたご注文をまとめてでも可)

お申し込みは1校につき1回までとさせていただきます。

先着1,000校限定のため、応募期間内に募集を締め切らせていただく場合がございます。

◆対象商品…2026学校図書館ガイドブック「NCL図書目録」掲載商品。課題図書・推薦図書は対象外とさせていただきます。

◆申込〆切…2026年11月30日必着

※プレゼントは6月頃より随時、ご応募いただいた学校様へ直接発送いたします。

◆いただきました個人情報はプレゼントグッズの発送目的以外には使用いたしません。

(お問合せ先) 農文協 石黒・細田

tel 048-233-9339

「空想科学読本シリーズ」の作者 柳田理科雄さんから、
学校司書の先生・図書担当の先生へメッセージをいただきました。



柳田理科雄
(やなぎた・りかお)

1961年、鹿児島県生まれ。空想科学研究所主任研究員、明治大学兼任講師。おもな著書に『空想科学読本』シリーズ (KADOKAWA)、『ポケモン空想科学読本』シリーズ (オーバーラップ) などがある。

希望される学校の図書館に「空想科学 図書館通信」を送るようになって、ちょうど20年になる。夏休みなどを除いて週に1回、児童・生徒さんから寄せられたマンガやアニメの疑問を科学的に考察する、という内容だ。「通信」は、図書館に掲示しても、図書館便りなどに転載しても、コピーして生徒さんに渡しても、要するにどんな活用でもOK。一人でも多くの子どもが図書館に足を運んでくれたら……と思っている。

これを始めようと言い出したのは、空想科学研究所の所長だ。小学6年のとき、小さな田舎町から鹿児島市に転校した所長は、転校が夏休み直前だったこともあって、ほとんど友達ができないまま、長い夏休みを一人本屋に通って過ごした。2学期が始まると学校の図書館に居場所を見つけて、図書委員になった。毎朝、図書館に直行し、整理や掃除をしてから教室に向かうようになったという。

「あの図書館には、本当に救われたんだ」と所長は言う。最初は避難場所だったのかもしれないが、図書館に入り浸ったおかげで、すっかり本好きになり、やがて出版社で働くようになるのだから、影

響力は大きかった。僕も、そんな彼から『空想科学読本』の企画を提案されて本を書くようになったわけで、『空想科学読本』の出発点はその図書館にあるともいえる。20年前、所長とそんなことを語り合って、「空想科学 図書館通信」をスタートさせた。

講演会や出張授業などで学校にお邪魔したとき、時間と状況が許せば、図書館を見学させてもらっている。潤沢な予算があるのだな、と一目でわかる私学の図書館もあれば、利用者が少ないのか、活気に乏しい図書館もある。もっぱら生徒さんたちの勉強スペースになっている図書館もある。

しかし、どの図書館にも共通して漂っているのは「来るものは拒まない」という雰囲気だ。本を読むのはもちろん、調べものや勉強のためでも、一人で考えごとをするためでも、かつての所長のように、居場所がないからやってくるのでも構わない。どんな学校図書館にも、そんな温かさがあるのを感じる。

図書館は「出発点」だ。そこにある本を開けば、過去にも、宇宙にも、空想の世界にも行ける。『空想科学読本』の出発点といった役割を果たすこともある。どこにでも行ける出発点だ。そんな図書館に一人でも来てほしくて、僕は今週も「空想科学 図書館通信」を書いている。昨秋から、小学生版と中高生版の2版体制にしたので、空想科学研究所のホームページからお申し込みください。無料です。

空想科学研究所の
ホームページはこちらから



愛蔵版ジュニア空想科学読本シリーズ、堂々完結！



2016年12月に愛蔵版ジュニア空想科学読本の第1巻が発売されてから、約9年。第30巻の刊行で、ついにシリーズが完結しました。「タケコプターが本当にあったら、空を飛べるのか?」「かめはめ波を撃つには、どうすればいい?」「金魚すくいのボイで銃弾を受け止められる?」「『鬼滅の刃』の剣士は「全集中の呼吸」で鬼を倒すけど、実際に人間は呼吸で強くなるの!?!」……アニメ・マンガ・昔話・ゲームなどに関して、全国の子どもたちから寄せられた数々の疑問を科学的に解き明かし、いくつもの驚きの結末をみちびき出してきました。疑問の数だけ、科学がある! 大好きな作品を2倍3倍楽しみながら、科学する心を育てましょう。各巻、愛蔵版限定の書き下ろし付き。

巻数	各巻定価
第1期 (1～3)	本体1,500円+税
第2期 (4～6)	本体1,500円+税
第3期 (7～9)	本体1,500円+税
第4期 (10～12)	本体1,500円+税
第5期 (13～15)	本体1,500円+税
第6期 (16～18)	本体1,500円+税
第7期 (19～21)	本体1,600円+税
第8期 (22～24)	本体1,600円+税
第9期 (25～27)	本体1,800円+税
第10期 (28～30)	本体2,000円+税

※第1～8期に関しては、年度内で定価変更になる場合がございます。予めご了承くださいませようお願いいたします。

第9期、10期はカタログ126ページへ➡
別刷注文書は62ページへ➡